



命を守り
命を育む
学校

第12号
令和3年12月6日
児童数862名

ひとり たいせつ なふだ うわぐつ 一人ひとりを大切に**する名札と上靴**

みなさん、^{いま}今、^{なふだ}名札をつけていますか。学校では、^{がっこう}名札をつ^{なふだ}けることに決めています。

ではなぜ、^{なふだ}名札をつけるのでしょうか。^わ分かりますか。

まず、^{こうちょう}校長先生は、^{ちょうれい}朝礼で「^{なまえ}名前をつけてあいさつをしま^ししょう！」と何度かお話をしました。^{あいて}相手の名前を知るため^{なまえ}には、^{なふだ}名札を見るとより分かります。^{なまえ}名前が分かると、名前^{なまえ}をつけてあいさつができるようになります。

^{おな}同じ学年の人の名前^{おぼ}は、もう覚え^{ちか}ましたか。それから、^{がくねん}近くの学年の人の^{おぼ}名前も覚え^{がっこう}ましたか。この学校は自分^{じぶん}をのぞいて861人の子ども達^こがいます。ぜひ、みんなの名前^{なまえ}を覚え^{おぼ}てみましょう！

^{つぎ}次に、相手の名前^{あいて}を呼んであいさつをする^よということは、「○○さん^{きょう}今日も学校にいますね。」と相手のこと^{あいて}を認^{みと}めていること^{ひと}になるので^{なまえ}す。名前^{ひと}をつけて、あいさつ^{たいせつ}をされると、人はとても大切に^{たいせつ}されている^{かん}と感じる^{なふだ}そうです。だから名札^{なふだ}をつけています。

^{さら}更に、そういう点^{てん}では、^{うわぐつ}上靴に名前^{なまえ}を書く^かことも同じ^{おな}です。^{ていがくねん}低学年の子^こども達^{うわぐつ}は、^{なふだ}高学年の名札^みが見えない^{なまえ}こともあります。しかし、^{なまえ}上靴の名前^かは見る^{なまえ}ことができますので、^わきちんと分かる^{なまえ}ように名前^かを書いてお^{なまえ}きましょう。

このように、^{なふだ}名札^{うわぐつ}をつけたり、^{なまえ}上靴^かに名前^かを書いたり^かすることは、^{あいて}相手^{たいせつ}からも大切に^{ひと}される^{たいせつ}こと^{ひと}につながります。言いかえ^{ひと}ると『一人ひとりを大切に^{たいせつ}する』こと^{ひと}につながります。そして^{いのち}「命^{まも}を守り命^{はぐ}を育む学校^{がっこう}」^かになると考^かえています。^{がっきゅう}さあ学級^{おぼ}の人の名前^{こえ}を覚えたら校長先生^{おぼ}に声^{こえ}をかけてくだ^{おぼ}さい。そして^{ほか}他の学級^{おぼ}の人の名前^{おぼ}を覚え^{ちようせん}る^{おぼ}ことにも挑^{おぼ}戦^{おぼ}してください。



^{まめちしき}(豆知識) ^{どうと}人は一人ひとりがかけがえのない尊^{どうと}いものである^{どうと}ということから、^{どうと}いかな^{どうと}る場合^{どうと}にもキズつけたり、^{どうと}むししたり^{どうと}してはならない^{どうと}ものを人権^{じんけん}と考^{かんが}えました。